

居住支援法人レキオス



事業報告会

空き家 → あんしん住まい化！沖縄型サブリース支援プロジェクト
～住まいを起点とした伴走支援の現場から、不動産と福祉の未来を拓く～

2月26日



14:00～17:00

開場13:30

沖縄県立博物館・美術館 博物館 講座室

〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号

1986年の創業以来、「住まいは命を守るインフラである」という理念のもと、地域に根差した住環境整備に邁進してきたレキオス。今回、私たちは**休眠預金等活用事業**として『**空き家→あんしん住まい化！沖縄型サブリース支援プロジェクト**』を立ち上げ、住宅確保が困難な世帯を支える新たな仕組みに挑みました。

入居者・家主・支援者の「**三方よし**」を追求した一年の軌跡。その道中では、着手して初めて浮き彫りになった借地物件の複雑な権利関係や、行政手続きのはざまなど、現場だからこそ見えてきたリアルな壁にも直面しました。

本報告会では、実務の最前線で得られた生きた知見と、現場でもがいたからこそ掴み取った確かな成果を、参画した皆様と共に分かち合います。次なるステージへ繋がる「**生（なま）の課題**」を共有し、沖縄の未来を創る一步を、ぜひ一緒に。

プログラム

「空き家→あんしん住まい化」プロジェクト報告

伴走支援の現場から見えた課題と成果、

不動産×福祉 連携の実践事例紹介等

(※内容は一部変更となる場合もございます。)

お申込み

対 象：賃貸オーナー、不動産管理会社、支援機関、
行政関係者、居住支援に関心のある方 など

参加費：無料（事前申込制）

お申込み方法：下記QRコードよりお申込みください。

※ 定員になり次第、締切とさせていただきます。



<https://forms.gle/rPTQNYvknoHrGur8A>

主催：沖縄県指定 第6号 居住支援法人レキオス

【資金分配団体（コンソーシアム）】

（公財）沖縄県労働者福祉基金協会（一財）

南西地域産業活性化センター

（認定NPO法人）日本都市計画家協会



プログラム

1 | 事業報告

空き家 → あんしん住まい化！沖縄型サブリースプロジェクト

休眠空き家を借上げ、改修補助を提供。

サブリース方式により「空室不安の軽減」と「入居者への生活サポート」を一体化することで、住まいの“入口”から“出口”まで安心して暮らせる仕組みづくりに挑戦しました。

- ▶ あんしん住まい化の提供数 7物件 / 7世帯
- ▶ 三方（入居者・家主・支援機関）連携モデルを実証

居住支援法人を活用したこれからの賃貸経営、
地域と連携する新たな不動産モデルの可能性をお伝えします。

2 | 参加者からの報告

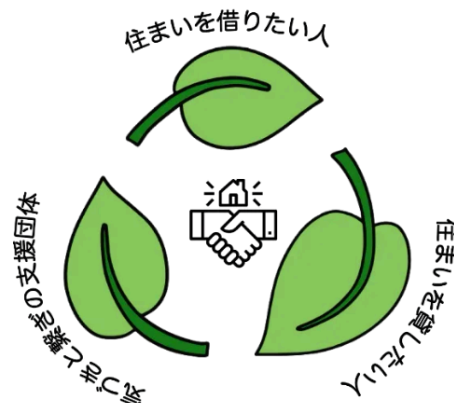
— 三方よしのリアル —

本事業は、

- ① 住宅確保に悩む方（住宅確保要配慮者）
- ② 住まい提供に不安のある方（家主・管理会社）
- ③ 支援が滞りやすい現場を抱える支援機関

三者が活用した実践モデルです。

今回実施した7件に関わった当事者・関係者より、
現場で起きた変化と本音をお届けします。



3 | 実務者報告

～ 現場から見た課題と展望 ～

- 不動産の視点 沖縄の不動産事情と潜む課題と可能性
カセイ有限会社 代表取締役 宮城裕
- 居住支援の視点 地域のおせっかい不動産をめざして
有限会社 高蔵住宅 代表取締役 高良明友美
- 支援団体の視点 若年母子支援と住まい支援
社団法人ある（にじのしづく）代表理事 棚原喜美枝

この実践を、次のステージへ。

本事業で得られた知見と成果を共有し、

沖縄における「不動産 × 福祉」の新たな連携の形をともに考えます。

地域で支え合う住まいづくりの次の一歩へ。

ぜひご参加ください。

遠回り・寄り道・迷い道しても、社会全体が未来に進み続けるプラットフォームをつくる

レキオス居住支援
つれづれNoteも
お楽しみください➡

